

## 教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」



# 志

## 学校だより

R3 6.1

四日市市立内部中学校 第 8 号

### 充実の6月に！

早いもので6月となりました。5月はゴールデンウィークからのスタートでした。その後、みえスタディチェック、中間テスト、全国学力・学習状況調査と、テストの多い月でしたが、いつも集中して取り組めていて感心しました。また、授業に部活動に生徒会活動にと、何にでも意欲的に取り組めるのが、内部中学校の生徒たちの良さです。



今年度の6月は、修学旅行（6月3日～5

日）、自然教室（6月16・17日）と大きな行事が2つあります。それぞれ、充実した活動となるよう、計画を立てたり調べ学習を行ったりして、事前準備を進めています。

修学旅行や自然教室は、単なる見学や体験ではなく、大切な学習活動の一つです。取り組みを通して多くのことを学んでほしいと願っています。修学旅行では社会科の地理や歴史を、自然教室では理科の自然などについて、各教科と結び付けて学ぶチャンスがあることでしょう。また、それ以外にも、仲間と協力して取り組むこと、折り合いをつけること、時間を守ること、健康に留意すること、マナーを守ること等の大切なことを、多く学んでほしいと思います。

23日（水）からは期末テストが実施されます。もう1カ月もありませんので、行事等で忙しい6月ですが、目標や見通しを持ち、時間をうまく使い、計画的に学習を進められると良いです。

### 様々な学びや活動

学校では日々、教室や特別教室等での授業、生徒会活動や部活動等において、様々な学びや活動が行われています。他者と協働した学びや活動、主体的な学びや活動、対話的な学び、タブレットを活用した学び、生徒たちは素敵な姿や優れた能力をたくさん見せてくれています。頼もしい限りです。



## 読書のすすめ

本校では毎朝、8時30分からの10分間、読書活動に取り組んでいます。この活動の目的は、一日の学校生活を、落ち着いた雰囲気や気持ちで過ごすことでもありますが、より大切にしているのは、読書の楽しさを知り、活字に親しむ習慣を定着させることです。



読書は、登場人物に感情移入し、話の展開を楽しむことで、言葉を知り、いろいろな人の考え方や感じ方に触れ、感性を磨き、表現力や想像する力を豊かにしてくれます。また、未知の世界への興味や関心を高めてくれるとともに、論理的思考力を身に着けることができます。こうした力は、生徒たちが「知性豊かに」人生をより深く生きていく上で、欠くことのできないものです。

近年、生徒たちを取り巻く環境は大きく変化しています。中でも、インターネットの普及で、いつでも、どこでも簡単に欲しい情報を手に入れることができるようになりました。このように情報化が進み利便性が向上した反面、ゲームやインターネットに費やす時間が増え、読書活動などに親しむ時間が減り、子どもの発達に及ぼす影響などが懸念されているとの報告もあります。ただし、インターネットやICT機器については、日常的にツールとして活用していくことが当たり前の時代となっています。ですので、読書の習慣を定着させるためには、うまく時間を見つけることが必要です。しかもっと大切なのは、楽しく親しみやすい本に出会うことです。

今回はここで、気軽に読める一冊の本を紹介します。

### よのなかルールブック（メシが食える大人になる！） 高濱正伸 監修【日本図書センター】

ちょっとピリ辛だけど、今のうちにこどもたちに伝えたい、人生を生き抜くためのヒントとなる50のことばが、挿絵入りでわかりやすく書かれています。「ことば」の一部を紹介します。

- ・「失敗」を「失敗」のままにしない。「経験」にする。 ・迷ったときは、キツイほうを選ぶ。
- ・自分の時間と同じように他人の時間も大切にする。 ・自分のことばで話せる人になる。
- ・まちがってもいいから、自分なりの答えを出す。 ・親にカンペキを求めすぎない。
- ・知らないまま、わからないままにしない。 ・ちいさな変化や成長を、大切に積み重ねる。
- ・自分とはちがう意見にも素直に耳をかたむける。 ・「何を悩んでいるか」をことばにする。
- ・合わない人がいるのは「よのなかの当たり前」だと知る。 ・変わることを恐れない。
- ・まずは自分が幸せになって、それから人を幸せにする。
- ・「自分はひとりで生きられる」なんてかんちがいしない。
- ・人生の主演は自分自身。人生の進路は自分で決める。

他にも、大人でも「ああそうだな！」と思う「ことば」が、全部で50書かれています。本校の図書室にもありますので、興味を持ったなら是非読んでみてください。

